

社会性報告

SOCIAL REPORT

メイコーは様々な国・地域・社会で、様々な人々と関わりながら、産業発展に不可欠な電子回路基板を製造・販売しています。

私たちは、そのような社会的な存在であることを自覚し、責任を果たしていくとともに、私たちを取り巻く多様なステークホルダーに配慮し、事業活動を展開しています。

お客様に向けて 品質保証への取り組み

2016年度の主な活動実

- 顧客クレームの不良項目と要因を監視し、工程内品質の改善活動を実施。
- 過去トラの横展開を強化するため、品質保証本部内で不具合連絡会を開催し、重点不良項目の抽出並びに展開するための仕組みを改善。
- 全工場の内部製造工程監査を実施し、工場間の分析・比較(良い面、不十分な面)をおこない、各工場の事例横展開報告会を実施。
- 5M1E変更管理の徹底・強化を図るため、仕組みの見直しを実施。
- 標準委員会活動を再構成し、全社標準MESの整備を推進。

今後の計画

- 市場不良「ゼロ」に向けて、顧客クレーム、工程内不良の情報を元に、設計面、管理面の観点から改善を図る。
- 過去トラ横展開の継続による不良の未然防止。
- 内部製造工程監査の継続とレベルアップ。
- さらなる変化点管理の徹底。
- 全社の異常処置管理の整備(仕組みの見直し)。
- 標準化委員会の活性化によるMES整備の推進。

メイコーでは経営理念の1つである「顧客に最高の価値とサービスを提供し社会に貢献する」の実現に向けた「品質方針」を定め、信頼性を向上させることで、お客様の満足度を最高レベルにまで高め、社会に貢献することを目指しています。

品質保証に対する考え方と品質保証組織

近年、車載部品の不具合によるリコール問題等がニュースになり、企業経営が脅かされるリスクが高まっています。

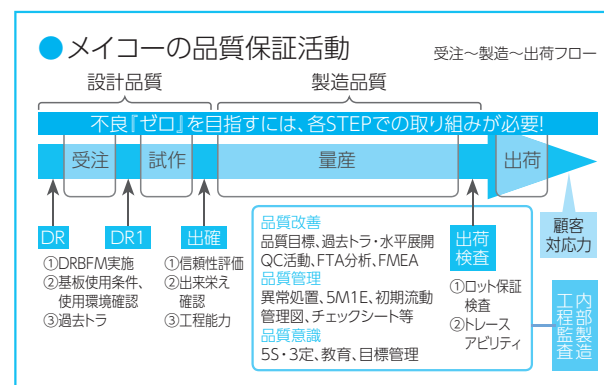
メイコーの製品も車載を中心に様々な製品に採用いただいております、品質の重要性は益々高くなっています。

このリスクに対しては、これまでの発想を変え不良「ゼロ」を目指した活動を進めていかなければなりません。

設計品質、製造品質を高めるために、それぞれの段階での仕組みを機能させ、不良の発生を未然に防止する活動を進めています。

顧客ニーズへの品質保証 海外4工場の水平展開

2016年度のグループ経営方針に基づき海外工場および国内工場とともに、顧客ニーズに応えることの



できる製品の品質保証体制を進めてまいります。

グローバル工場を含めた品質保証と管理の強化を目指し顧客の要求に合致したものづくりを実践していきます。

お客様より表彰いただきました

● パナソニック
オートモーティブ&
インダストリアル
システムズ様より

2016年3月17日、武漢工場は基板品質向上プロジェクトでの活動内容を評価いただき、「ベストサプライヤー賞」を受賞しました。

● トヨタ自動車
広瀬工場様より

2016年5月27日、山形工場はトヨタ自動車様との直取りビジネスを進める上で前提となる「工程内不良3ゼロ活動」を展開したことが評価され優秀賞を受賞しました。



顧客満足度調査

メイコーでは製品、サービスの品質の向上を目的として、お客様の製品、サービスに対する満足度の調査を毎年実施しています。

2016年度は45社様からご回答をいただきました。調査は①製品の品質、②製品の価格、③製品の納期、④サービス、⑤技術対応の5項目についてご回答いただきました。

お客様の声として、多くのお客様に満足をしていただいておりますが、一部のお客様からは厳しいご指摘もいただいております、製品、サービス向上のための指針とし、今後より一層お客様に満足していただけるよう努力してまいります。

ISO9001、ISO/TS16949の認証取得

メイコーでは、グローバルスタンダードであるISO9001およびISO/TS16949を取得し、継続的改善に取り組んでいます。

● ISO9001、ISO/TS16949の認証取得状況

ISO9001

1997.05.13	(株)メイコー 電子回路基板で認証
2002.05.01	中国広州工場認証
2003.01.27	ISO9001:2000による日本国内統合
01.27	(株)MDS拡大認証(基板設計)
2006.11.29	中国武漢工場認証
2008.02.20	メタルマスク部拡大認証
2010.06.18	ベトナム工場認証
2014.01.15	石巻工場再取得
2015.04.24	タンロン工場認証

ISO/TS16949

2004.04.19	中国広州工場認証
2011.03.22	中国武漢工場認証
2013.01.09	ベトナム工場認証

※国内工場はJET(電気安全環境研究所)、中国工場はTUV(テュフラインランド)、ベトナム工場はBVC(ビューローベリタス)より認証取得しています。



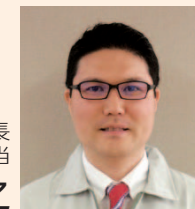
ISO9001(日本国内)

ISO/TS16949
(ベトナム工場)

現場の声

品質保証部 係長
ベトナム工場認定 プロジェクト担当

山本 敬之



欧州車載顧客の越南工場認定プロジェクト担当の山本でございます。現在の自動車業界は、従来のエンジンからモーターへの電動化だけでなく、自動運転に代表されるような電子デバイス技術の進歩が加速しており、プリント配線板への高度な技術要求はもちろんのこと、耐久性を含む総合品質要求は増えています。

メイコーは国内主要車載メーカー様を中心に製品納入しておりますが、近年は欧州車載メーカー様から多くの引き合いをいただくようになり、今後の主力工場となるベトナム工場での早期顧客認定取得に向けて総力を挙げています。欧州車載メーカー様への対応は、言葉、考え方、マインドセット、文化が異なることからアプローチが大きく異なり様々なハードルが存在しますが、弊社はこのようなグローバルプロジェクトには若い世代にチャンスを提供し、困難を乗り越えさせながら貴重な経験とノウハウを蓄積しています。

現在の変化の激しい自動車産業市場で、これら経験と様々なノウハウを生かし世界中の車載メーカー様に更なる高品質、高信頼性な製品を提供出来るように尽力してまいります。

お客様に向けて 商品開発

2016年の主な活動実績

- 車載通信、センシング基板の新規開発
- 銅インレイ基板開発
- メタルベース基板用高放熱絶縁樹脂材料の新規開発
- 車載部品内蔵基板（パワーIC）の開発

今後の計画

- 車載通信、センシング基板の量産準備
- 銅インレイ基板の量産準備
- 車載用フレキ基板の新規開発
- 高放熱樹脂、環境発電用基板の研究

メイコーでは、「最高への挑戦」を目指し多種多様なご要求に最適な配線板をご提案できるよう商品開発を推進しております。材料、構造、工法にわたり最適化を図ることにより、小型高密度化や高周波、高速動作対応や大電流、高放熱対応を進めるとともに、より信頼性の高いプリント配線板をご提供します。

自動車走るコンピュータになると言われている昨今、プリント配線板はその形を様々に変えて使われています。自動車に搭載されるユニットを5つに大別し(図1)以下説明します。

通信系及び情報系の通信モジュールやナビゲーションは多段ビルドアップ構造で高密度配線のモジュール基板が使われます。スマートフォンで培った高密度化技術に加え、車載基準の信頼性アップを進めています。

ボディー系のヘッドライトはメタルベース放熱基板が使われます。高放熱絶縁樹脂開発により熱伝導率10W/m・Kの樹脂ラインナップを実現しました。その他に小型・軽量化を目的として銅インレイ放熱基板の量産準備を行ってきました。

パワートレイン系のインバータ、コンバータ、ジャ

ンクションボックスは、部品内蔵基板にパワーICの内蔵を行うことにより放熱性の向上が確認されました。その他に厚銅基板で、超厚銅(～0.4mm)工法開発を進めています。

走行安全系のミリ波レーダーには、ミリ波レーダー基板で低誘電率材料とFR-4を組み合わせた工法開発が完了し実用化に向けた準備が進んでいます。

一口にプリント配線板といっても自動車搭載で見ると全く異なるタイプのものが使われています。今後はこれらプリント配線板開発を鋭意進めていくとともに、システム統合に向けて高速伝送用途でインピーダンス制御基板の開発や異種用途である環境発電用基板の産学連携研究を通じ、プリント配線板の適用範囲拡大に努めていく所存です。



お取引先様に向けて サプライチェーン

2016年の主な活動実績

- 購買危機管理基準を制定し、調達リスク最小化への取り組みに向けた購買監査を実施。
- 2012年10月より紛争鉱物調査をEICC標準フォーマットにて実施。
- REACH規則等最新版に対応しての環境対応調査実施。＜SVHC169物質＞

今後の計画

- 危機管理基準をもとにした購買監査の継続的な実施。
- 産地不明メーカーについての継続調査の実施。
- 最新版管理の実施と不使用保証の明確化。

メイコーでは、お取引先各社様にメイコーのCSR方針、環境方針などをご理解いただくための指針として「調達基本方針」を制定し、環境保護・対応に関する取り組みを強化するなど企業間の協力体制のもとCSRの推進に取り組んでいます。

調達基本方針について

メイコーでは、下記「調達基本方針」「購買取引行動指針」に基づく調達活動の継続を推進しています。基本的概念として、お取引先様から部材調達に始まり生産活動・物流・販売に至るまでの一貫したサプライチェーンが求められている中、メイコーではお取引先様との相互信頼関係を築き、ともに繁栄できる関係(WIN-WIN)の確立が調達活動での最重要ポイントと考えています。国内の生産・販売拠点はもちろんのこと、海外拠点とのリレーションを含め、①調達基本方針のご理解 ②法令・社会規範の遵守 ③環境保護 ④反社会的勢力の排除 ⑤EICC行動規範をもとにした、品質、納期、価格、経営のほか事故、災害時の事業継続性など総合的に判断し購入先の選定をおこない、サプライチェーンによるCSRの実践を強く推進します。

● 調達基本方針

1. 購買取引行動指針に基づいたグローバル生産体制に対応した最適な調達活動
2. お取引先様とのコミュニケーション・連携を強化した円滑・公正・適正な調達活動
3. 環境対応(化学物質に対する対応/グリーン調達)の強化
4. サプライチェーンによる紛争鉱物の排除、若年労働者雇用の調査を推進

お取引様・協力会社様へのお願い

メイコーでは、調達基本方針である「環境対応」の側面より300社以上のお取引先様・協力会社様と地球環境に配慮した下記取り組み事項に関してのご理解・ご協力をお願いとお約束を推進しています。社内生産活動における「温室効果ガス排出抑制」、「廃棄物削減」および、「特定化学物質の管理」はもちろんです。環境に配慮した調達活動実現のため、お取引先様・協力会社様へもグリーン調達の推進や提案をいただくとともに、物流や営業活動に関しても地球環境に配慮した活動をお願いしています。2016年の具体的な活動実績としては、購買危機管理基準を制定し調達リスクを最小化する取り組みに向けた購買監査や、EICC標準フォーマットによる紛争鉱物調査、若年労働者雇用の調査REACH規則等最新版に対応した環境対応調査などを実施しています。

1. グリーン調達の推進・グリーン調達基準の遵守・「エコ商品」の情報提供
2. アイドリングストップの協力
3. 廃棄物の減量
4. 緊急事態の連絡に関する協力

現場の声

日立化成株式会社
グローバル市場戦略統括部 エレクトロニクス部

原田 勲

株式会社メイコー様には日本、中国・ベトナムの各拠点におきまして感光性フィルム「Photec」およびプリント配線板材料「MCL」を長らくご愛顧賜りまして誠に有難うございます。

弊社は地球環境と調和した持続可能な社会を実現するために、事業活動、製品およびサービスにおける環境負荷低減をグローバルに推進しています。日立化成は、地球環境との調和は経営の最優先課題の一つと捉え、日立グループの統一環境ビジョンである「地球温暖化の防止」「資源の循環的な利用」「生態系の保全」を環境ビジョンの三本柱として採用しています。

御社は「調達基本方針」の1つに「環境対応（化学物質に対する対応／グリーン調達）の強化」を掲げられておりますが、弊社では御社における廃棄物の減量に繋がるべく納入製品の納入形態の工夫やハロゲンフリー材料の御社での更なるご採用促進を進めております。

今後も御社とのお取引を通して、環境負荷低減を推進してまいりますので更なるご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

購買・調達活動への取り組み

内部統制とコンプライアンス

メイコーでは、購買・調達活動に対し以下の項目を遵守し、お取引先様との円滑な業務を継続しています。日本における「下請代金支払遅延等防止法」、グローバル調達においては、関税法、各国・地域における法令、社会規範の遵守、社内教育やコンプライアンスの確認を実施し、お取引先様との適正かつ永続的な取引を強化し推進しています。

1. 購買・調達活動に関わる法令を遵守し、お取引先様との公正かつ公平な業務を遂行する。
2. 購買・調達活動を通じて知り得たお取引先様の情報を守秘し、機密情報・個人情報などの流出を防止する情報セキュリティ体制を強化する。
3. お取引先様からの「接待・贈答」は社会通念の範囲内とし、個人的利益にあたる授受を禁止する。
4. 反社会的勢力・紛争鉱物調達・若年者労働の排除を遂行する。

環境対応（グリーン調達）

メイコーでは「環境に対する基準」に基づき、お取引先様との環境対応に配慮した購買・調達活動を推進しています。

1. 法規制（RoHS指令・ELV指令・REACH規則）や環境負荷物質の含有を確認し、適合品の調達を推進することで製品環境品質の維持・向上に努めています。

① RoHS指令	: EUによる電子・電気機器における特定有害物質の使用制限
② ELV指令	: EUで施行された、廃棄自動車の環境に与える負荷を低減するための指令
③ REACH規	: EUにおける人の健康や環境の保護のための法律
④ JIG (1-R)	: 電気電子機器製品に関する含有化学物質情報の開示に関するガイドラインの法規制物質
- ⑤顧客基準
2. 「環境保護に関する覚書」「環境負荷化学物質に関する不使用保証書」の締結を推進し、お取引先様との環境保護対応を推進しています。締結に関しては、外注加工メーカー様を含め主要お取引先様と進めています。
3. 産業廃棄物の排出削減に努め、資源の再利用など有価物としての取り組み対応をお取引先様と推進しています。

コンフリクトフリー調達方針

2012年8月、米国証券取引委員会（SEC）では金融規制改革法にある紛争鉱物条項への実施規則を採択しました。メイコーではサプライチェーンにおける紛争鉱物の排除を推進します。EICC／GeSI調査票に基づく調査、回答の開示とそのフォローにより、紛争鉱物を含んだ資材の調達を排除していくことを「コンフリクトフリー調達方針」に定めています。

従業員に向けて 働きやすい職場づくり

2016年の主な活動実績

- 女性が働きやすい体制の推進。
- あるべき姿の次世代リーダーの育成。
- 海外駐在員マネジメント研修、海外派遣の開始。

今後の計画

- 継続推進。
- 次世代マネジメント層の育成。
- 製造技術の集中的教育、自己啓発制度強化。

メイコーでは「企業の最大の財産は人」との考え方のもと、すべての社員にとって安全・安心・清潔で、多様性を尊重する、そして社員が成長できる「働きがいのある職場づくり」を推進します。

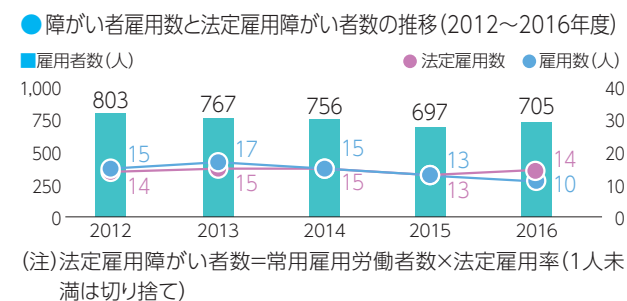
多様性の尊重

メイコーでは、人権を尊重し、人種・信条・宗教・国籍・年齢・性別・障がいなどで差別することなく、多様な人材が能力を発揮できるよう、公正な採用と評価ならびに処遇することに努めています。女性従業員に対しては産休・育休からの復帰にあわせた短時間勤務制度の推進なども積極的におこなっており、2016年度中の育児休業取得者は3名、職場復帰者は2名、短時間勤務制度利用者は22名となりました。（グループ会社を除く）

また、海外拠点では多くの現地従業員に加え日本人従業員が多数勤務しており、国内拠点においても数十名の海外出身者が勤務しています。国内外に関わらず人事異動・人材交流により、グローバル人材の育成、さらなる人材活性化を推進しています。

障がい者雇用

メイコー（グループ会社を除く）では障がい者雇用促進法に基づく法定雇用障がい者数を1991年度に満たして以来、2010年、2011年を除き継続的に達成してきましたが、2016年度は雇用者数の増加および障がい者の退職が重なり未達となりました。2017年度には法定雇用障がい者数を満たせるよう努めてまいります。



育休、時短制度 利用者の声



経理本部 主任
石澤 淑恵

2012年の10月に一人目を出産、また2014年12月には二人目を出産し、計2回育児休暇を取得しました。現在は短時間勤務制度を活用し仕事に復帰しています。

一人目の出産をした当時、上司や周囲の方々のサポートによって働きやすい環境を整えていただいたことをよく覚えています。私自身、出産によって仕事を辞めるという選択肢はありませんでした。仕事をすることで家庭でも生き生きとした生活を送ることができていたので、短時間勤務制度の9時から16時までの勤務で、心身共にゆとりを持って家事や育児に取り組んでいます。この制度がなければ、体力的にも辛く復帰は難しかったと思います。子どもたちは頻繁に体調が変化し突然お休みをいただくこともありますが、制度の活用や周囲の方の理解に助けられています。復帰後は新たな業務にも挑戦させていただき、近々三人目を出産予定です。働き方は人それぞれですので、制度も一人ひとりの生活に合わせてうまく活用できるといいですね。

グローバル社員の声

Meiko Trading and Engineering Co.,Ltd.
メカトロニクス部 課長
NGUYEN VAN THUAN
(グエン バントアン)



私は、2007年にメイコーベトナムに入社後、メイコー本社に転籍し、情報システム課で約4年間、主に社内システムの開発やメンテナンス業務に従事しました。その後、2012年6月に母国であるベトナム工場に情報システム部の責任者として赴任しました。

私が赴任した当時のベトナム工場は、まだ生産が立ち上がったばかりで、そうしたなか、メイコー本社勤務で得た経験を活かして、ネットワークシステムや各種業務管理システム、消防防火システムなど、工場における生産を支える様々な仕組みの構築を推進しました。

その後、今年4月にベトナムのメイコー子会社であるMTE（メイコートレーディングアンドエンジニアリング）に移籍し、現在は主に自動化システムやハンダ付けロボットの設計や映像事業関連のソフト開発等の新規事業の立上げ推進責任者の一人としての業務を担当しています。

現在、私が担当している新規事業の立上げは、基板製造にはないノウハウやスキルが必要であり、日々勉強の連続ではありますが、これから経済が大きく発展するベトナムの地で、新しい仕事にチャレンジする事は非常に「やりがい」があり、また、仕事を通じて自分自身の成長にもつながっていくと感じています。

このような重要な仕事を任せてくれる会社に感謝すると共に、一日も早く、担当している事業がメイコーグループ全体に貢献できる事業になるよう、努力していきたいと思います。

各種教育制度の導入

メイコーでは、社員一人ひとりの持つ潜在能力を引き出すとともに、経営理念の実現を担う人材を中長期的に確保するために、新入社員から中堅社員、幹部社員に至るまでの階層別研修や、職能や職種に応じた分野別研修をおこなっています。特に次世代のリーダー教育は最重要課題と位置づけ、現在のリーダーから次世代へ伝承すべき共通の独自価値を抽出し、育成プログラムへ反映させるユニークな研究を推進しています。

また、社員の自発的な能力開発の支援として、技能検定資格を促す資格認定制度や通信教育の費用補助のほか、外部講師による基板スクールの実施やTOEIC受験費用の全面的補助などをおこなっています。

さらに、ますます重要性が高まる海外現地法人の最前線でグローバルに活躍できる社員を育成するために、国内社員の語学研修や海外社員の日本における研修制度の充実のほか、今後はマネジメント力の向上および海外派遣（トレーニー制度）などを展開します。

●階層別研修

新入社員

- ・ビジネスシミュレーション研修
- ・製造・営業実習と問題解決の実践

中堅社員

- ・MBA (Meiko Board Academy)
- ・次世代マネジメント層の育成

管理職

- ・MAPS (Management Academy for Problem Solving)
- ・問題解決力向上

部門長

- ・社長塾
- ・さらなる成果創出のためにメイコーDNAの実践者となる人材を育成

●分野別研修

技術者教育

- ・メイコー基板スクール（ベーシック編・アドバンス編）
- ・新入社員・中途入社社員・中核技術者の技術力を向上

グローバル教育

- ・TOEIC社内受験の定期化とインセンティブ制度
- ・英語選抜研修
- ・中国語・ベトナム語研修

●自己啓発

通信教育講座

- ・語学系講座を修了した場合は受講料の80%を補助

安全衛生に関する取り組み

メイコーでは、安全衛生方針に基づき、すべての職場における不安全状態の撲滅と作業環境の向上、そして全従業員の健康増進をすることを目標に安全衛生活動を推進しています。労働災害の防止はもちろんのこと、より効果的に問題を発見するために、産業医や労働衛生コンサルタントなど有識者による職場巡視や、工場間での安全衛生委員による相互パトロールなども実施しています。さらには、リスクアセスメントによるリスクの見積もりとそれに基づく労働災害の予防措置をおこない、安全衛生管理の向上に努めています。

●労働安全衛生方針

メイコーグループでは、「企業の最大の財産は人」との考えのもと、すべての従業員が心身ともに安全で安心して働き、個々人の能力を十分に発揮できる職場づくりを目指します。

1. 労働安全衛生の関連法規制および社内規程を遵守し、すべての職場における不安全状態の撲滅を図ります。
2. 職場におけるリスクアセスメントを実施し、目標を定め労働環境の改善および労働災害リスクの低減に継続的に取り組みます。
3. 従業員一人ひとりに労働安全衛生活動を周知させ、安全衛生意識の向上を図ります。
4. 従業員の心と体の健康の保持・増進に対し積極的な支援を図ります。

株主様・投資家様に向け IR活動の充実

2016年の主な活動実績

- 機関投資家様向け決算説明会、アナリストミーティング、スモールミーティング、投資家様訪問を実施。
- 海外の投資家様に向けた各種IRツールの英語化。

今後の計画

- 各種説明会を継続実施。
- さらなるグローバル化、投資家様に有用な情報の発信。

メイコーは、企業行動規範において、「企業価値の創造に向け、健全かつ透明性のある企業活動・企業経営に努め、株主や投資家の皆様に信頼される企業であり続けることを目指します」と定めています。この規範に基づき、各種法令を遵守しながら健全で公正な企業活動を積極的におこなうことで企業価値を最大にすべく努めています。

適時・適切な情報の開示

株主・投資家の皆様の投資判断に影響を与えると思われる重要な情報は、適時開示規則に基づき適切に開示するとともに、それ以外の重要な情報も迅速・適切かつ公平に開示をおこない、経営の透明性を向上させています。

海外の投資家様に向けて

海外の投資家様に当社の事業活動に理解を深めていただけるよう、株主総会招集ご通知およびプレゼン資料、株主通信、決算説明会資料の英語化をおこなってIRのグローバル化を進めています。

株主通信

メイコーへの理解をより深めていただくために、株主の皆様への情報提供として年2回「株主通信（MEIKO REPORT）」をお届けしています。



MEIKO REPORT

地域社会に向けて 社会貢献

2016年の主な活動実績

- 各サイトにおいて、地域課題に沿った社会貢献活動を実施。
- 各サイトの取り組みを他サイトで展開するための情報共有の強化。

今後の計画

- 多くの従業員が自発的に参加できる枠組みの構築。

メイコーでは、地域社会との密接な関係を築くために、本社をはじめとするグループ各社での社会貢献活動を積極的に推進しています。今後も、各自治体の主催する環境美化活動や各種イベントに積極的に参画するとともに、良き企業市民として各地域社会に密着した社会貢献活動を推進することで、社会の一員としての責任を継続的に果たしてまいります。

武漢

- 地域清掃活動

タンロン

- 地域清掃活動

ベトナム

- 家族に重大な病気の方がいる従業員へお見舞い
- 地元レスリング大会協賛
- 盲人者へ新年祝い贈呈

広州

- 南沙区政府主催の献血活動へ参加（6月67名採血）
- 地元の学校教育を応援する為、大涌村小学校、南沙区小学校に「児童の日」寄付
- 消防官庁との交流の為、南沙消防大隊に訪問、感謝バナーを送付
- 広州市人的資源と社会保障局から「広州市労働関係和諧企業A級」の表彰

宮城

- 石巻港湾地区除草活動

山形

- 地元高等学校のインターンシップ受け入れ
- 地域清掃活動/谷地工業団地
- 年2回の献血活動への参加（6月20名採血、10月25名採血）

福島

- 広野町サマーフェスティバルに協賛（協賛金および打ち上げ花火）
- 年2回の献血活動への参加（9月15名採血/3月13名採血）

本社および神奈川

- あやせ環境ネットワーク協賛
- あやせ商工フェア協賛
- 綾瀬市社会福祉協議会「綾瀬ふれあいの家」協賛
- 綾瀬市花火大会協賛
- 綾瀬市少年野球連盟春季大会&メイコーカップ開催
- 第15回神奈川県障害者技能競技大会アビリンピック2017協賛
- 「交通事故防止」キャンペーン 近隣の小中学校へ寄贈

Action 1

近隣高校の工場見学会開催

メイコーでは、高校生が実践体験を通して社会を知り、地域企業に対する認識を高めたりする授業に協力して、近隣にある高校の工場見学会やインターンシップをおこなっています。福島工場では近隣の高校2校からの勤労体験に3名、工場見学会に20～30名の生徒を受け入れ、初めて経験する作業の現場や、製品が流れていく工程を体験し、モノづくりの大切さや面白さを実感していただきました。



工場見学会

Action 2

献血活動の実施

メイコーでは国内外の各拠点において献血活動を継続的に実施しています。福島工場では、社会貢献の一環として微力ながら命の手助けをしていきたいと、9月に15名、3月に13名の従業員が採血に協力し、山形工場でも同様に6月に20名、10月には25名が協力しました。また、広州工場でも南沙区政府主催の献血活動へ参加を行い、6月に67名もの従業員が採血に協力しました。



広州工場献血活動



Action 3

地域社会に沿った社会貢献活動

広州工場では、広州市人的資源と社会保障局から「広州市労働関係和諧企業A級」の表彰を受けました。また、地元の学校教育を応援する為に「大涌村小学校」「南沙区小学校」に「児童の日」の寄付をおこないました。ベトナム工場では、家族に重大な病気の方がいる従業員へのお見舞いやフンサー村のレスリング祭りの協賛等の地域に密着した活動を継続して行っています。



広州市労働関係和諧企業A級表彰盾



大涌村小学校



南沙区小学校



お見舞い



フンサー村レスリング祭り協賛